



AVG File Server

ユーザー マニュアル

ドキュメント改訂 2015.08 (22.09.2015)

Copyright AVG Technologies CZ, s.r.o. All rights reserved.
他のすべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。



目次

1. はじめに	2
2. AVG インストール要件	3
2.1 対応オペレーティング システム	3
2.2 サポートされているファイル サーバー	3
2.3 推奨ハードウェア要件	3
3. AVG インストール処理	4
3.1 インストールの実行	4
3.2 ライセンス契約	5
3.3 ライセンスのアクティベート	5
3.4 インストール タイプの選択	6
3.5 カスタム インストール -カスタム オプション	7
3.6 インストール完了	8
4. インストール後	9
5. Document Scanner for MS SharePoint	11
5.1 概要	11
5.2 高度な設定	13
6. AVG for SharePoint Portal Server	16
6.1 プログラム メンテナンス	16
6.2 ウイルス対策設定へのアクセス	16
6.3 ウイルス対策設定	17
7. FAQ およびテクニカル サポート	21



1. はじめに

このユーザー マニュアルは、AVG File Server の包括的なマニュアルです。

AVG File Server をご購入いただき、ありがとうございます。

AVG File Server は、サーバーの総合的なセキュリティを提供するように設計された、受賞経験のある AVG 製品の 1 つです。すべての AVG 製品と同様に、AVG の信頼性のあるセキュリティ機能をより分かりやすく、効率的な方法で提供するために、AVG File Server は完全に再設計されました。

AVG 製品は、コンピュータとネットワーク アクティビティの保護を目的として設計、開発されています。AVG による完全な保護をぜひ体感してください。

このドキュメントでは、AVG File Server の特定の機能について説明しています。他の AVG 機能に関する情報が必要な場合は、Internet Security Edition のユーザー ガイドを参照してください。すべての必要な詳細について説明しています。このガイドは、<http://www.avg.com> からダウンロードできます。



2. AVG インストール要件

2.1. 対応オペレーティング システム

AVG File Server は、次のオペレーティング システムで稼動するワークステーションとサーバーの保護を目的としています。

- Windows 2003 Server および Windows 2003 Server x64 Edition (Service Pack 1)
- Windows 2008 Server および Windows 2008 Server x64 Edition
- Windows 2008 Server R2 Edition
- Windows 2012 Server および Windows 2012 Server x64 Edition
- Windows 2012 Server R2 Edition

(また、特定のオペレーティング システム用 サービス パック)

2.2. サポートされているファイル サーバー

次のファイル サーバーがサポートされています。

- MS SharePoint 2003 Server バージョン
- MS SharePoint 2007 Server バージョン
- MS SharePoint 2010 Server バージョン
- MS SharePoint 2013 Server バージョン

2.3. 推奨ハードウェア要件

AVG File Server の推奨ハードウェア要件 :

- Intel Pentium CPU 1,8 GHz
- 512 MB の RAM メモリ
- ハードディスク空き容量 600MB以上 (インストールのため)



3. AVG インストール処理

AVG をコンピュータにインストールするには、最新のインストール ファイルを入手する必要があります。パッケージ版の CD にあるインストール ファイルも使用 できますが、このファイルは古い可能性 があります。したがって、最新のインストール ファイルをオンラインで入手 することをお勧めします。[AVG ウェブサイト \(http://www.avg.com/download?prd=msw\)](http://www.avg.com/download?prd=msw) からファイルをダウンロード できます。

各製品には 32ビット オペレーティング システム (x86) 用と 64ビット オペレーティング システム (x64) 用の 2種類のパッケージがあります。必ずお使いのオペレーティング システムに合った正しいインストール パッケージを使用 してください。

インストール処理 中にはライセンス番号 を入力する必要があります。インストールを開始 する前にライセンス番号 を準備 してください。番号は CD のパッケージに記 載されています。AVG 製品 をオンラインで購 入した場合、ライセンス番号 はメールで送 信されます。

インストール ファイルをハードディスクにダウンロードして保存 した後、インストール処理 を実行 できます。インストールは各ステップの操作の概要を案内 する一連のダイアログで構成 されています。次に、各ダイアログの説明を 示します。

3.1. インストールの実行

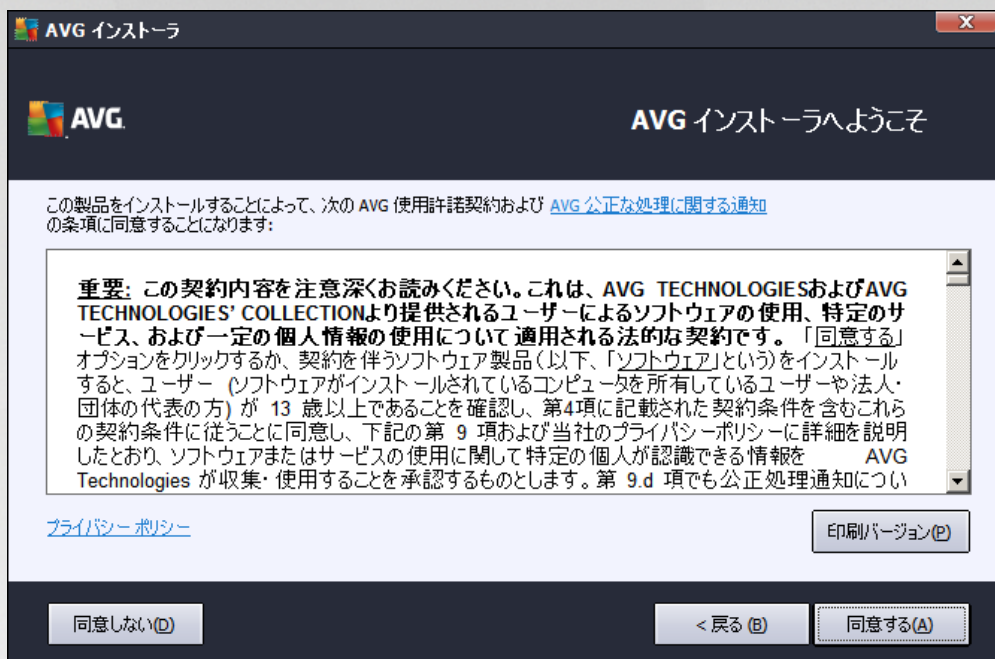


インストール処理 は [ようこそ] ウィンドウから始 まります。このウィンドウではインストール処理 で使用する言語 を選 択し、[次へ] ボタンを押 します。

インストール処理 の後半で、アプリケーション インターフェースの言語 を追加 することもできます。



3.2. ライセンス契約



このダイアログでは、ライセンス条件を読むことができます。[印刷バージョン] ボタンをクリックすると、新しいウィンドウでライセンス契約が表示されます。[同意する] ボタンをクリックして確認し、次のダイアログへ進みます。

3.3. ライセンスのアクティベート

[ライセンスのアクティベート] ダイアログではライセンス番号を入力する必要があります。

ライセンス番号を[ライセンス番号] テキストフィールドに入力します。ライセンス番号は、オンラインでのAVG製品ご購入後に送信された確認メールに記載されています。この番号を記載通り正確に入力する必要があります。デジタル形式のライセンス番号が利用できる場合(メール)は、コピーと貼り付けを使用して入力することをお勧めします。



[次へ] ボタンをクリックして、インストール処理を続けます。

3.4. インストールタイプの選択



[インストールタイプの選択] ダイアログでは、[高速インストール] と [カスタムインストール] の 2つのインストール オプションから選択できます。

ほとんどのユーザーには、[高速インストール] を選択し、プログラムベンダーが事前定義した設定を使用してAVGを自動モードでインストールすることを強くお勧めします。この設定は、最適なリソース消費で最大のセキュリティを実現します。将来的に設定の変更の必要が生じた場合は、いつでもAVGアプリケーションで直接変更で



きます。

カスタム インストールは、AVG を標準設定でインストールしない合理的な理由がある場合、経験のあるユーザーのみが行ってください (特定のシステム要件への適合など)

カスタム インストールを選択すると、ダイアログの下部に [**インストール先 フォルダ**] セクションが表示されます。このセクションで、AVG をインストールする場所を指定できます。デフォルトでは AVG は C ドライブの program files フォルダにインストールされます。この場所を変更する場合は、[参照] ボタンをクリックしてドライブ構成を表示し、対象フォルダを選択します。

3.5. カスタム インストール - カスタム オプション



[**コンポーネント選択**] ダイアログでは、インストール可能なすべての AVG コンポーネントの概要が表示されます。デフォルトの設定が適当でない場合は、特定のコンポーネントを追加または削除できます。

ただし、**選択**できるコンポーネントは購入した AVG 製品に含まれているコンポーネントのみです。[**コンポーネント選択**] ダイアログでは、これらのコンポーネントのみがインストール可能です。

- **遠隔管理** - AVG を AVG DataCenter (AVG Network Edition) に接続する場合は、このオプションを選択する必要があります。
- **追加でインストールする言語** - インストールされる言語を定義できます。[追加でインストールする言語] 項目にチェックを付け、該当するメニューから任意の言語を選択します。
- **サーバー** - この AVG 製品では **Document Scanner for MS SharePoint** サーバー コンポーネントのみが提供されています。MS SharePoint に格納されているドキュメントをスキャンし、検出されたウイルスをすべて駆除します。

[**次へ**] ボタンをクリックして続行します。



3.6. インストール完了

モジュール選択で**遠隔管理**コンポーネントモジュールを選択した場合は、最後の画面でAVG DataCenterに接続するための接続文字列を定義できます。



また、このダイアログでは、全体的なインターネットセキュリティレベルを高める目的で、検出された脅威に関する匿名の情報を収集する製品改善プログラムに参加するかどうかを選択できます。この内容に同意する場合は、**[AVG プライバシーポリシーに準拠したAVG製品改善プログラムに参加してセキュリティを向上させる]** オプションを選択したままの状態にしてください (このオプションはデフォルトにより選択されています)。

完了ボタンをクリックして、選択内容を確定します。

AVGはコンピュータにインストールされ、完全に機能しています。プログラムは完全自動モードでバックグラウンドで実行中です。



4. インストール後

インストールが完了するとすぐに、**AVG File Server** のメイン画面が表示されます。



このマニュアルでは、**AVG File Server** 固有の機能のみについて説明します。他のすべてのコンポーネントや設定については、AVG Desktop マニュアルで説明されています。メイン サーバー コンポーネント ダイアログを開くには、[サーバー] ボタンをクリックします。すると、次の画面が開きます。



ファイルサーバーの保護を個別に設定するには、該当する章の説明に従ってください。

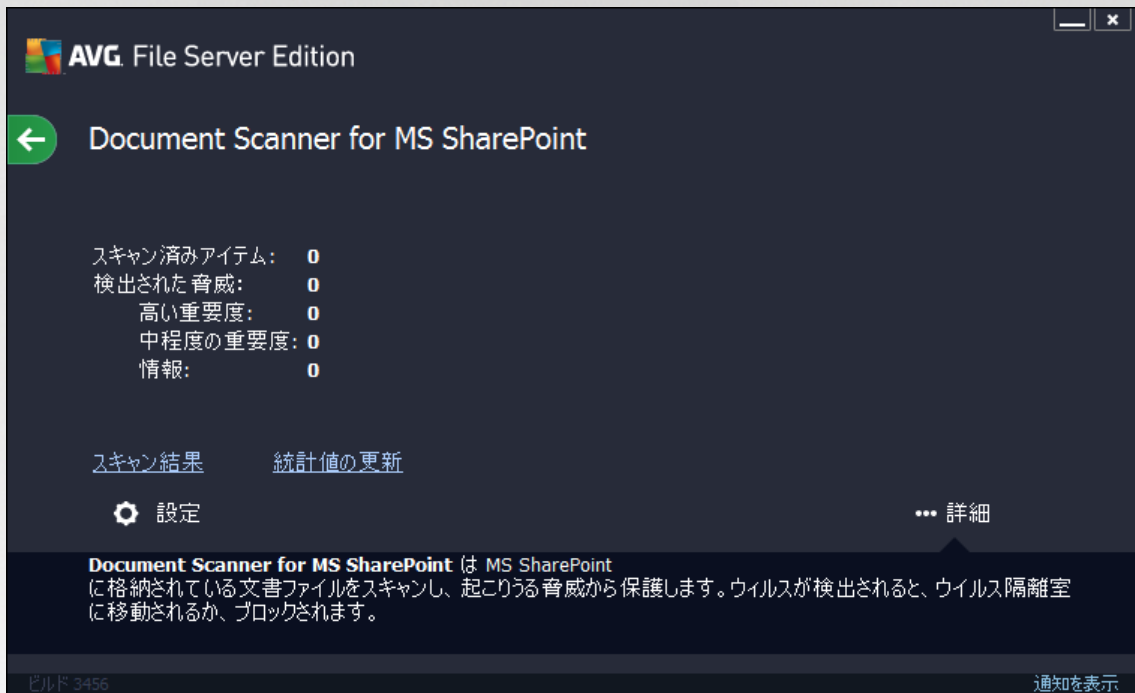
- [Document Scanner for MS SharePoint](#)
- [AVG for SharePoint Portal Server](#)



5. Document Scanner for MS SharePoint

5.1. 概要

AVG for MS SharePoint Server 2003/2007/2010/2013 構成 オプションはサーバー コンポーネント画面として AVG File Server と完全に統合されています。



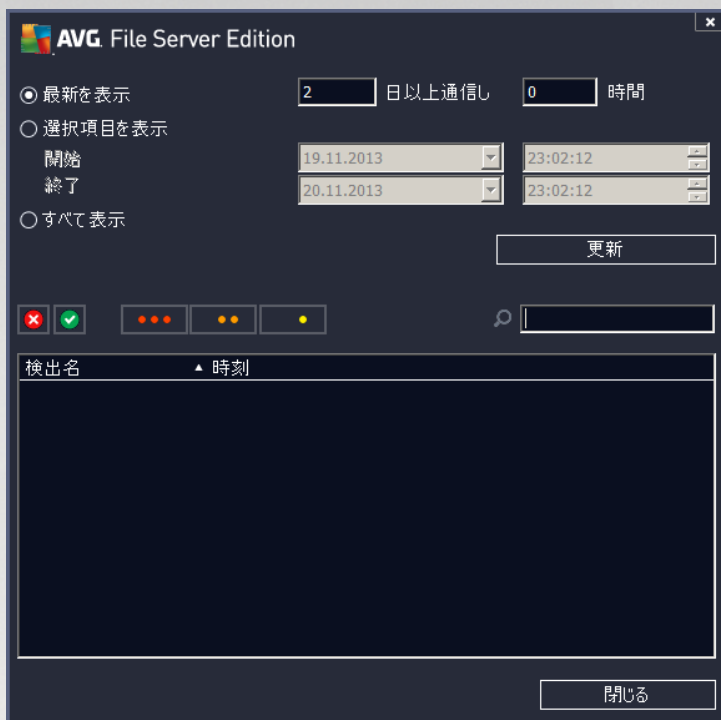
Document Scanner for MS SharePoint サーバー コンポーネント (この AVG 製品でのみ提供)の目的は、MS SharePoint に格納されているドキュメントをスキャンすることです。ウイルスが検出されると、ウイルス隔離室に移動されるか、完全に削除されます。

Microsoft SharePoint は、Internet Explorer ベースのコラボレーション機能、プロセス管理 モジュール、検索 モジュール、ドキュメント管理 プラットフォームなどの幅広いコンポーネントを含む製品およびソフトウェア要素群です。SharePoint を使用すると、共有 ワークスペース、情報 ストア、ドキュメントにアクセスするウェブサイトをホストできます。

インターフェースの概要：

- **スキャン結果**

スキャン結果を確認するための新しいダイアログが開きます。



このダイアログでは、メッセージが重要度に応じて複数のタブに分かれて表示されます。重要度の変更方法とレポート方法については、各コンポーネントの設定を参照してください。

デフォルトでは過去 2 日間の結果のみが表示されます。次のオプションを変更することで、表示期間を変更できます。

- **次の過去の期間内の結果を表示** - 任意の日数と時間数を入力します。
- **選択した期間の結果を表示** - カスタム日時間隔を選択します。
- **すべて表示** - 期間全体の結果を表示します。

[更新] ボタンをクリックすると結果がロードされます。

- **統計値の更新** - 上記で表示される統計値が更新されます。

[設定] 作業ボタンをクリックすると、選択したコンポーネントの高度な設定が開きます (すべてのコンポーネントの個別の設定についての詳細情報は下記の章に記載されています)

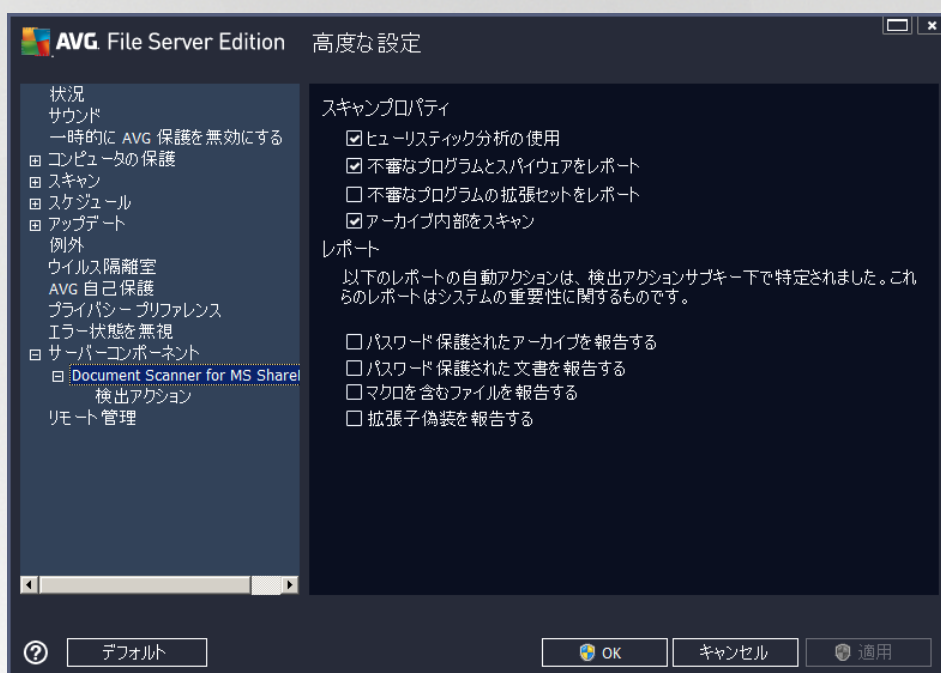


5.2. 高度な設定

5.2.1. 一般設定

MS SharePoint 向けドキュメントスキャナの設定を開くには、コンポーネントのインターフェースから[設定] ボタンを選択します。

[サーバーコンポーネント] リストから、[MS SharePoint 向けドキュメントスキャナ] 項目を選択します。



[スキャン プロパティ] セクション：

- **ヒューリスティックを使用する** - スキャン時にヒューリスティック分析方式を有効にするにはこのチェックをオンにします。
- **不審なプログラムとスパイウェア脅威を報告する** - このオプションにチェックを付けると、不審なプログラムとスパイウェアの存在を報告します。
- **不審なプログラムの拡張設定を報告する** - チェックを付けると、スパイウェアの拡張パッケージを検出します。スパイウェアは、製造元から直接取得する場合には完全に問題がなく無害なプログラムですが、後から悪意のある目的で悪用されるおそれのあるプログラムです。また、常に無害ですが、望ましくないプログラムもあります (各種 ツールバーなど) この機能はコンピュータセキュリティと快適性をさらに高めるための追加的手段ですが、合法的なプログラムもブロックする可能性があるため、既定ではオフになっています。メモ：この検出機能は前のオプションの追加機能です。したがって、基本タイプのスパイウェアに対する保護を適用する場合には、必ず前のボックスにもチェックを付けた状態にしてください。
- **アーカイブ内部をスキャンする** - アーカイブファイル内 (zip、rar など)もスキャンする場合はこのオプションのチェックをオンにします。

[報告] セクションではスキャン中に報告するアイテムを選択できます。この既定の設定は [検出アクション] セクションの [情報] 部で簡単に修正できます (次を参照)



次のオプションが利用可能です。

- **パスワードによって保護されたアーカイブを報告する** -パスワードによって保護されたアーカイブ ZIP、RAR などのウイルス スキャンはできません。ボックスにチェックを付けると、このようなアーカイブを潜在的に危険なオブジェクトとして報告します。
- **パスワード保護された文書を報告する** ?パスワードによって保護された文書のウイルス スキャンはできません。ボックスにチェックを付けると、潜在的に危険なオブジェクトとしてこのようなドキュメントを報告します。
- **マクロを含むファイルを報告する** ?マクロはあるタスクを簡単に実行するためのあらかじめ定義された一連の命令です (MS Wordのマクロが広く知られています) マクロには潜在的に危険な命令が含まれる可能性があります。ボックスにチェックを付けると、マクロを含むファイルを不審なファイルとして報告します。
- **拡張子偽装を報告する** ?たとえば、不審な実行可能ファイル「something.txt.exe」が、無害なテキストファイル「something.txt」として偽装されている場合があります。ボックスにチェックを付けると、このような拡張子を潜在的に危険なオブジェクトとして報告します。

次のツリー構造には、[\[検出処理\]](#) 下位項目もあります (次の章を参照)

5.2.2. 検出アクション



このダイアログでは、**Document Scanner for MS SharePoint** コンポーネントで脅威を検出したときの動作方法を設定できます。脅威は次の 3つのカテゴリに分けられます。

- **高い重要度の検出** ?自分自身をコピーして拡大させる悪意のあるコード。多くの場合、被害が発生するまで気付きません。
- **中程度の重要度の検出** - 一般的にこの種のプログラムには、明らかに深刻なものからプライバシーに潜在的な脅威を与えるものまであります。
- **重要度の検出情報** - 検出されたすべての潜在的な脅威のうち、上記のいずれのカテゴリにも分類で



きない項目が表示されます。

ロールダウンメニューを使用して、各検出内容に対する自動アクションを選択します。

- **なし** - このような脅威を含むドキュメントは処理されません。
- **修復** - 感染したファイルやドキュメントの修復を試みます。
- **隔離室に移動** - 感染したドキュメントはすべてウイルス隔離室環境に移動します。
- **削除** - ウイルスが検出されたドキュメントは削除されます。



6. AVG for SharePoint Portal Server

この章では、特別な種類のファイルサーバーと考えられる **MS SharePoint Portal Server** での AVG メンテナンスについて説明します。

6.1. プログラム メンテナンス

AVG for SharePoint Portal Server は Microsoft SP VSAPI 1.4 ウィルス スキャン インターフェースを使用して、ウィルス感染の可能性からサーバーを保護します。ユーザーがサーバー上でオブジェクトをダウンロードまたはアップロードするときに、サーバー上のオブジェクトにマルウェアが存在するかどうかを検査されます。ウィルス対策保護の設定は、SharePoint Portal Server の **[サーバーの全体管理]** インターフェースを使用して設定できます。**[サーバーの全体管理]** では、**AVG for SharePoint Portal Server** ログ ファイルの表示と管理もできます。

サーバーが稼働しているコンピュータにログインしているときに、**SharePoint Portal Server サーバーの全体管理** を起動できます。管理 インターフェースには Web ベースのインターフェースと **SharePoint Portal Server** のユーザー インターフェースがあります。Windows の **[スタート]** メニューの **[プログラム Microsoft Office Server]** フォルダ (**SharePoint Portal Server** のバージョンによって異なります) の **[SharePoint の全体管理]** オプションをクリックするか、**[管理 ツール]** で **[Sharepoint Central Administration]** を選択すると、この Web ベースのインターフェースが開きます。

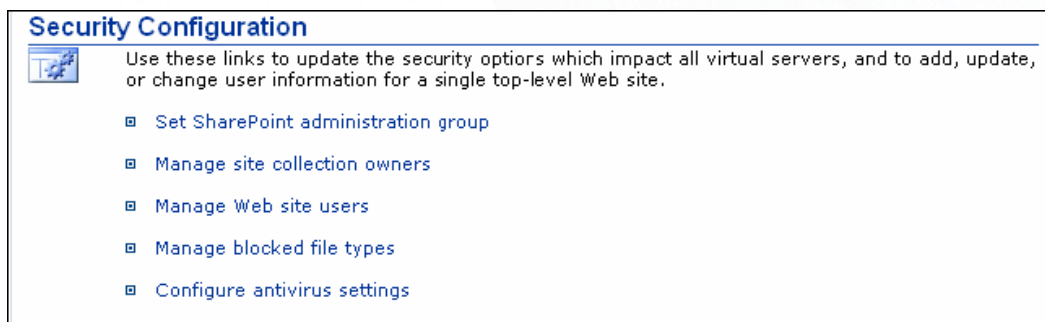
また、正しいアクセス権と URL を使用すると、リモートで **[SharePoint Portal Server サーバーの全体管理]** Web ページにアクセスできます。

6.2. ウィルス対策設定へのアクセス

[SharePoint ポータル サーバーの一元管理] インターフェースでは、**AVG for SharePoint Portal Server** スキャナのパフォーマンスパラメータとアクションを簡単に設定できます。ただし、ウィルス対策設定そのものは、サポートされている SharePoint のすべてのバージョンで同じですが、設定ダイアログにアクセスする方法は各バージョンでわずかに異なります。下記の簡単な概要で、お使いのバージョンを確認してください。

MS SharePoint 2003 Server

[サーバーの一元管理] メイン画面で **[動作]** オプションを選択します。新しいダイアログが表示されます。**[ウィルス対策設定を設定する (セキュリティ設定)]** セクション内。下のスクリーンショットを参照)を選択し、**[ウィルス対策設定]** ダイアログを開きます。



MS SharePoint 2007 Server

[サーバーの一元管理] メイン画面で **[動作]** オプションを選択します。新しいダイアログが表示されます。**[ウィルス**

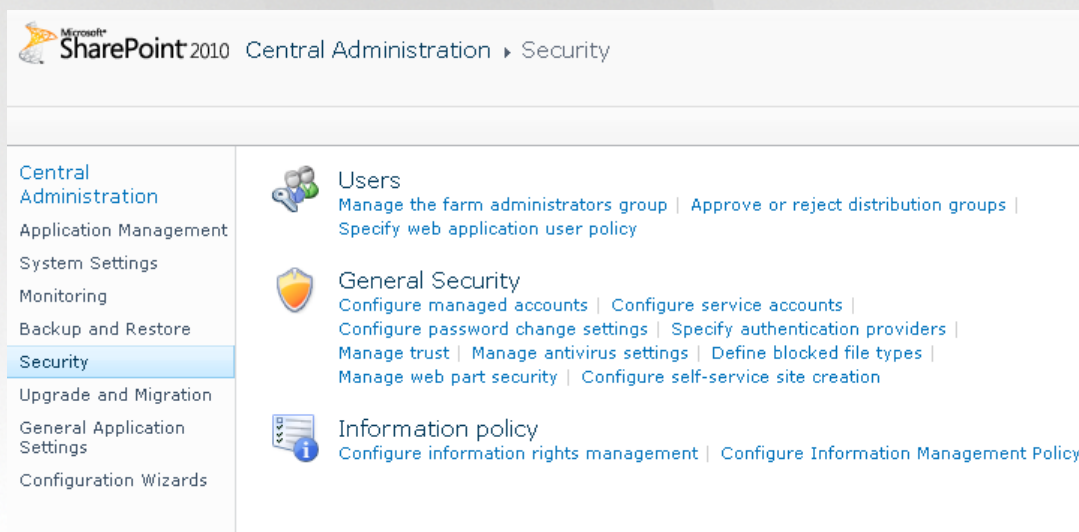


ス対策] (セキュリティ設定) セクション内。下のスクリーンショットを参照)を選択し、[ウイルス対策] ダイアログを開きます。



MS SharePoint 2010/2013 Server

[サーバーの一元管理] メイン画面で [セキュリティ] オプションを選択します。新しいダイアログが表示されます。



[ウイルス対策設定を管理する] (一般セキュリティ) セクション内)を選択し、[ウイルス対策] ダイアログを開きます。

6.3. ウィルス対策設定

下記の概要は、SharePoint の異なるバージョンでウィルス対策 (またはウィルス対策設定) ダイアログがどのように表示されるかを示したものです。



MS SharePoint 2003 Server



Windows SharePoint Services Configure Antivirus Settings

Use this page to configure settings for virus scanning. You must install virus scanning software on all Web servers that are hosting documents before these settings can take effect. [Show me more information.](#)

Antivirus Settings

Specify when you want documents stored in document libraries and lists to be virus scanned, and whether you want your virus scanner to attempt to clean infected documents. You can also specify how long the virus scanner should run before timing out, and the number of execution threads on the server that it may use. If server response time is slow while scanning, you may want to decrease the number of seconds and threads allowed for virus scanning.

Scan documents on upload

Scan documents on download

Allow users to download infected documents

Attempt to clean infected documents

Time out scanning after seconds

Allow scanner to use up to threads

OK

Cancel



MS SharePoint 2007 Server

Central Administration > Operations > Antivirus

Antivirus

Use this page to configure settings for virus scanning. You must install virus scanning software on all Web servers that are hosting documents before these settings can take effect. [Learn about configuring antivirus settings.](#)

Antivirus Settings

Specify when you want documents stored in document libraries and lists to be virus scanned, and whether you want your virus scanner to attempt to clean infected documents.

- Scan documents on upload
- Scan documents on download
- Allow users to download infected documents
- Attempt to clean infected documents

Antivirus Time Out

You can specify how long the virus scanner should run before timing out. If server response time is slow while scanning, you may want to decrease the number of seconds.

Time out duration (in seconds):

Antivirus Threads

You can specify the number of execution threads on the server that the virus scanner may use. If server response time is slow while scanning, you may want to decrease the number of threads allowed for virus scanning.

Number of threads:

OK

Cancel



MS SharePoint 2010/2013 Server

Microsoft
SharePoint 2010

Central Administration > Antivirus

Use this page to configure settings for virus scanning. You must install virus scanning software on all Web servers that are hosting documents before these settings can take effect. [Learn about configuring antivirus settings.](#)

Central Administration

- Application Management
- System Settings
- Monitoring
- Backup and Restore
- Security
- Upgrade and Migration
- General Application Settings
- Configuration Wizards

Antivirus Settings

Specify when you want documents stored in document libraries and lists to be virus scanned, and whether you want your virus scanner to attempt to clean infected documents.

Scan documents on upload

Scan documents on download

Allow users to download infected documents

Attempt to clean infected documents

Antivirus Time Out

You can specify how long the virus scanner should run before timing out. If server response time is slow while scanning, you may want to decrease the number of seconds.

Time out duration (in seconds):

Antivirus Threads

You can specify the number of execution threads on the server that the virus scanner may use. If server response time is slow while scanning, you may want to decrease the number of threads allowed for virus scanning.

Number of threads:

外観を別にすれば、設定オプションはサポートされている SharePoint のすべてのバージョンでまったく同じです。

- **アップロード中のドキュメントをスキャンする** - アップロード中のドキュメントのスキャンを有効 無効にします。
 - **ダウンロード中のドキュメントをスキャンする** - ダウンロード中のドキュメントのスキャンを有効 無効にします。
 - **ユーザーによる感染ドキュメントのダウンロードを許可する** - ユーザーによる感染ドキュメントのダウンロードを許可 禁止します。
 - **感染したドキュメントの除去を試みる** - 感染したドキュメントの自動消去を有効 無効にします。
-
- **タイムアウト時間 (秒)** - 起動後にウイルススキャン処理を実行する最長時間 (秒) ドキュメントスキャン時のサーバーの応答が遅いように思われる場合は値を下げます。
-
- **スレッド数** - 同時実行可能なウイルススキャンスレッド数を指定できます。値を大きくすると 並列化レベルが上がるためスキャン速度が上がる場合がありますが、一方でサーバーの応答時間が長くなる可能性があります。



7. FAQ およびテクニカル サポート

AVG に関する問題がある場合、購入に関する問題、技術的問題にかかわらず、AVG Web サイト (<http://www.avg.com>) の [FAQ](#) を参照してください。

この方法でヘルプが見つからない場合は、メールでテクニカルサポート部門までお問い合わせください。システムメニューの [ヘルプオンラインヘルプ](#) より お問い合わせフォームをご利用ください。